



あいづばんげ

議会だより



200号 記念特集号

令和3年1月25日発行
福島県会津坂下町議会

目次

- ◆ 200号記念特集 …………… 2～7 P
- ◆ 第4回定例会主な審議案件ほか …… 8 P
- ◆ 臨時会・議会の動き …………… 9 P
- ◆ 一般質問 …………… 10～15 P
- ◆ みんなのひろば・編集後記 …………… 16 P

00号を迎えました



「二百号を迎えて」

議長

水野孝一

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から町議会に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症により生活が一変し、新しい生活様式が求められ、町の行事の多くが中止せざるを得ませんでした。議会としましても、その対策に一早く取り組み、町へ要望を重ねてまいりました。

昨年三月の改選により、議員数が二名減の十四名となりましたが、議会一丸となり、安全・安心のまちづくりに取り組んでおります。

議会報告として発行している「議会だより」は昭和四十七年の発刊から、今回で二百号になりました。実に約半世紀の歴史であり、発行に際しては、研修や研究を重ね、日々努力をして参りました。記念すべき二百号の作成には特に力が入り、これを契機に今まで以上に研鑽して参ります。また、町民の皆様や各団体との懇談会である「ばんげ未来トーク」であります。今年度は状況を見ながら開催する予定であります。これからの議会の責務を自覚し、町民の意思を町政に反映してまいります。

結びに、皆様方にとりまして、今年もご健勝でありますことをご祈念申し上げます、挨拶といたします。



「議会だより 二百号」への想い

広報広聴特別委員会委員

青木美貴子

この度、会津坂下町議会の「議会だより」が二百号を迎えることが出来ました。

昭和四十七年十一月の発刊以来、半世紀にわたり、町村合併、議員定数、議会改革、行財政改革、人口減少や少子高齢化など、様々な問題や出来事に議会として議論を重ね、町民の皆さまの幸せを求めてきた経過を、紙面を通してお伝えして参りました。

「議会だより」は議会活動を皆さまにお知らせし、理解を深めていただくため、年四回の発行を議員の手作りで続けて参りました。

また、議会と町民との繋がりを身近に感じるようインターネット配信や「ばんげ未来トーク」の開催など、努力をして参りました。読んでいただいております皆さまのご声援に支えられた賜物だと心から感謝申し上げます。

二百号を作成するにあたり、改めて現在に至るまでの土台を作り上げてこられた方々に敬意と感謝を申し上げます。これからも議会情報発信の重要性はますます高まってくると存じます。より一層読みやすく、親しみやすい「議会だより」をめざし、様々な方法でお伝えできますよう、委員一同努力して参ります。

第1号（昭和47年発刊）から……

あいづばんげ議会だよりは

2



「創刊二百号

発刊に寄せて」

会津坂下町長

齋藤文英

会津坂下町議会報の創刊二百号、誠におめでとうござい
す。

議会報は昭和四十七年十一月一日に発刊されて以来、四十
八年もの永きに渡り議会の活動状況を広く町民に提供し、町
民と議会の架け橋として町政の進展に大きく貢献してきまし
た。歴代議長、議員の方々をはじめ、関係者皆様のこれまで
のご努力に心から敬意を表します。

令和二年度より「人口が減少しても活力があり、町民一人
ひとりが生きがいを持てる持続可能なまち」を目指した第六
次会津坂下町振興計画がスタートしています。町政の根幹は、
町民と議会、行政との協働であり町に対する想いを共有し、
活き活きと活動することによって創られるものと考えており
ます。これまでの貴重な議会活動の軌跡が記された「議会報」
は、第一次から第六次振興計画と推進してきました町の施策
に対して様々なご意見、ご提言が記録されております。これ
らの貴重なご意見を肝に銘じながら、町民の皆様が誇れる
まちを目指し、誠心誠意努力し町政発展に力を注いでいく所
存です。

結びに、議会の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの
言葉といたします

これからも議会は 皆様の声を町政へ届けます！



昭和47年当時の議会・執行部



現在（令和2年）の議会・執行部



発刊からの あしあと

昭和47年

議会報第1号発刊（11月1日発刊）

昭和48年

議会議員改選選挙（定数24名）

昭和49年

冬期五輪札幌大会

昭和50年

議会報表紙をカラーでかざる

昭和51年

会派ごとの代表質問を実施（政研、新政、社会の3クラブ）

昭和52年

会津坂下町観光協会設立

昭和53年

老人福祉センター開所

昭和54年

第三代町長に菊地行雄氏就任

昭和55年

議会議員改選選挙（定数24名）

昭和56年

青津区の亀ヶ森・鎮守森古墳国史跡指定

昭和57年

日航機ハイジャック事件

昭和58年

宮城県沖地震

昭和59年

議会報の原稿を町民に求める

昭和60年

議会議員改選選挙（定数24名）

昭和61年

町営スキー場全施設完成

昭和62年

袋原大橋完成

昭和63年

国道49号線塔寺バイパス開通式

昭和64年

福島県会津少年自然の家開所

昭和65年

会津坂下町民歌、坂下音頭完成

昭和66年

500円硬貨発行

昭和67年

町議、町長選挙ポスター掲示が公営化

昭和68年

第二次会津坂下町振興計画策定

昭和69年

議会議員改選選挙（定数24名）

昭和70年

町広報誌「あいづばんげ」の文字を高橋藤園氏、斎藤清氏の絵を表紙に採用

昭和71年

町民憲章制定（町のシンボルを菊（花）桜（木）鶯（鳥）と制定）

昭和72年

合併30周年記念として第一回町民マラソン大会開催

昭和73年

夏祭り第一回坂下三人小町コンテスト開催

昭和74年

第四代町長に山口林助氏就任

昭和75年

議会議員改選選挙（定数22名）

昭和76年

中央・坂下公民館完成

昭和77年

青函トンネル開業、瀬戸大橋開通



昭和60年 第1回町民マラソン大会



昭和55年 町営スキー場オープン

あの日あの時、そして今 第1号

昭和64年
(平成元年)
平成2年

昭和天皇没。平成と改元
消費税3パーセント導入
議会報表紙に名誉町民、春日八郎氏が大俵を引いている写真掲載

会津坂下町健康管理センター開所
会津西部斎苑完成

平成3年

東証株価2万円を割る(バブル経済崩壊)
町議会初の海外研修(10名参加)

ばんげひがし公園鶴沼球場完成
雲仙・普賢岳噴火

平成4年

議会議員改選選挙(定数22名)

第三次会津坂下町振興計画策定

平成5年

鶴沼球場こけら落としとしてプロ野球イースタンリーグ巨人VSヤクルト開催
週休二日制導入に伴い、議会も土曜日休会とする

北海道西南沖地震災害へ議員が出し合い義援金を送る
坂下西浄化センター完成し供用開始

平成6年

温泉施設湯トピアばんげオーブン

平成7年

ばんげひがし公園町民プールオープン
春日八郎記念公園・おもいで館オープン

阪神・淡路大震災

東京地下鉄サリン事件

平成8年

議会議員改選選挙(定数22名)

議会報臨時号発行(改選による議員の紹介)
議会報100号記念号発行(11月25日発行)

平成9年

安兵衛通り開通、農村環境改善センターオープン

若宮小学校6年生が議会傍聴
消費税5パーセント導入
磐越自動車道全線開通

平成10年

長野冬季五輪開幕、郵便番号7桁になる

第五代町長に竹内景俊氏就任
まちづくり2001委員会を設立し、第四次会津坂下町振興計画策定

「議会報あいつばんげ」から「あいつばんげ議会だより」に名称変更
温泉施設「湯トピアばんげ」から「糸桜里の湯ばんげ」に名称変更

会津坂下町民憲章

わたくしたちは、美しい自然の中にはぐくまれ、未来に向かってたくましく生きる会津坂下町民です。

わたくしたちは、先人のすぐれた心をうけつぎ、町民としての自覚と誇りをもって協力し、平和で希望にみちたまちづくりのために町民憲章を定めます。

- 一、自然を愛し、緑豊かな美しいまちをつくりましょう。
- 一、互いに助けあい、心のふれあうまちをつくりましょう。
- 一、健康で働き、活力あるまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、教養を深め、文化の香り高いまちをつくりましょう。

(昭和60年8月1日制定)



平成2年 春日八郎氏大俵引きに参加

発刊からの あしあと

平成12年

議会議員改選選挙（定数20名）
中・高生模擬議会開催

平成13年

介護保険制度開始
議会報で20世紀の議員一覧を掲載
夜間議会開催

平成14年

ばんげ保育所開所、五浪美術館開館
河沼三町村合併等広域行政調査研究会（会津坂下町・湯川村・柳津町）発足
会津坂下町まちづくりセンター開所
国道49号線坂本バイパス（七折トンネル）開通
住民基本台帳ネットワークが本格稼働
会津坂下町まちづくり基本条例施行
議会議員改選選挙（定数20名）

平成15年

平成16年

両沼五町村（会津坂下町・柳津町・三島町・金山町・昭和村）合併協議会設置
議員による合併問題検討特別委員会の設置
高寺山第一回山開き

平成17年

平成18年

平成19年

平成20年

平成21年

第57回全国合唱コンクール全国大会で坂下一中金賞受賞
新潟県中越地震発生
行財政改革検討特別委員会の設置
都市計画道路坂下南幹線全線開通
坂下小6年生が総合的学習で議会傍聴
会津ナンバースタート

教育施設適正配置実施計画「全体事業計画」を作成

磐越自動車道新鶴スマートIC本格導入
町独自施策として、小学生まで医療費無料化実施

八幡小6年生が社会科学学習で議会傍聴
郵政民営化、新潟県中越沖地震発生
議会議員改選選挙（定数16名）

早乙女踊りが会津農林高校生徒と地域の人達により4年ぶり復活
第一次統合により坂下小・川西小・八幡小・片門小が統合
後期高齢者医療制度開始
医療費無料化を中学3年生までとする

町民議会懇談会スタート
議会報の表紙を「残したい技と心シリーズ」とする



平成23年
東日本大震災の
被災地へ向けた
炊き出し準備の様子



平成12年 中・高生模擬議会の様子

あの日あの時、そして今 第1号

平成22年
平成23年

家庭系ごみ有料化開始
議会基本条例制定

議会報の表紙を「ばんげの花シリーズ」とする

東日本大震災発生（町内では170件以上が家屋・土蔵など全壊・半壊等の被害を受ける）被災地の葛尾村、南相馬市等から、川西公民館・農業改善センター・会津自然の家・一般家庭等に約1000名が避難

平成24年

第五次会津坂下町振興計画策定
議会議員改選選挙（定数16名）

議会報の表紙を「ばんげの天然記念物シリーズ」とする

坂下第一・第二中学校を統合し「坂下中学校」として開校

平成25年

第六代町長に齋藤文英氏就任

議会報の表紙を「ばんげの偉人シリーズ」とする

第二次統合により①坂下小学校を分割、若宮小と統合し「坂下南小学校」として開校 ②坂下小学校を分割、金上小・広瀬小と統合し「坂下東小学校」として開校

平成26年

教育委員会に「こども課」新設

道の駅あいづ湯川・会津坂下オープン

平成27年

議会報の表紙を「ばんげの宝シリーズ」とする

第二回定例会一般質問からインターネット録画配信スタート

平成28年

議会議員改選選挙（定数16名）

開かれた議会を目指し「ばんげ未来トーク」スタート

議会報の表紙を「ばんげの宝・グループシリーズ」とする

平成29年

新庁舎建設調査特別委員会設置

議会を代表しての一般質問実施

平成30年

坂下中学校生徒会役員と「ばんげ未来トーク」を実施

第三回定例会より会議録・議決結果・請願陳情の結果をホームページへ掲載

平成31年

議会議員改選選挙（定数14名）

議会改革度調査で県内第3位となる（早稲田大学マニフェスト研究所調査による）

令和元年

第六次会津坂下町振興計画策定

新型コロナウイルス感染が拡大

参考資料（あいづばんげ町政だより、広報あいづばんげ、会津坂下町史、あいづばんげ議会だより）



平成31年 坂下中生徒会役員との未来トーク



平成26年 道の駅あいづ湯川・会津坂下オープン